

人間社会学部／人間形成学科	職名	教授	氏名	福田 恭介
---------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

1. **まばたきに関する研究**：まばたきは、情報を待ちかまえたり情報を取り込んで処理したりしているときには抑制され、情報処理が終了した瞬間にまばたきが発生します。このことは、まばたきが目の保護・防衛のため反射的に生じるだけでなく、期待、処理、処理終了、さらには選択的注意といった認知過程と関連していることを示しています。最近では、ボタン押し反応を抑制させるとそれを補償するかのようにまばたきが発生し、とくに発達障害を抱えた児童では、まばたきのタイミングが遅れやすいことを発見しました。このことは、まばたきによる発達障害アセスメントの可能性を示すものと考えています。
2. **ペアレントトレーニング（ペアトレ）に関する研究**：ペアトレは、親の子育て支援だけでなく、保育園や学校における保育者や教師の子ども支援にも役立つことが示されています。子どもの行動を観察・記録する中で、子どもの不適切な行動に注目するよりも、適切な行動に注目する方が、子どもの行動が変化しやすく、親・保育者・教師の自信を回復させることを明らかにしています。
3. **保有学位・資格**：文学博士・臨床心理士

2. 研究業績

①最近の著書・論文

1. 福田恭介 (2017) 「眼球運動」・「瞳孔運動」『生理心理学と精神生理学』日本生理心理学会（企画）堀忠雄・尾崎久記（監修）坂田省吾・山田富美雄（編集）第12章「視覚一運動系」1節・2節，北大路書房 223-231.
2. 福田恭介・小山憲一郎・中村恵美子・中藤広美・酒井志織・香月眞美 (2018) 「ペアレントトレーニング手法を用いたスキルアッププログラムが保育者・教師の子ども支援認知に及ぼす効果」福岡県立大学心理臨床研究 10, 11-21.

②その他最近の業績

<学会発表>

1. 福田恭介・松尾太加志・志堂寺和則・早見武人 (2017) 「Go/No-Go刺激の呈示比率と瞬目時間分布」第35回日本生理心理学会大会（江戸川大学）
2. 福田恭介 (2017) 「瞬目発生のタイミングと心理過程」第35回日本生理心理学会大会シンポジウム「生理反応測定と行動科学とのつながりー瞬目・自律系に注目してー」（江戸川大学）
3. 早見武人・松尾太加志・福田恭介・志堂寺和則 (2017) 「固視反復作業におけるサッカード加減速の非対称性」日本心理学会第81回大会（久留米大学）
4. 鶴岡歩・福田恭介 (2018) 「大学生の ADHD 傾向及び自閉傾向と瞬目抑制・発生の関連」九州心理学会第 79 回大会 2018.12.1（長崎大学）
5. 福田恭介・吉岡和子・小山憲一郎・中藤広美・中村恵美子・酒井志織・三原佑未・香月眞美 (2018) 「ペアレントトレーニング手法を用いた保育者・教師のためのスキルアッププログラムへの参加形態による子どもへの態度変容ー子どもへの関わり・子どもの問題行動の頻度と困り感に着目してー」九州心理学会第 79 回大会 2018.12.2（長崎大学）

③過去の主要業績

1. Fukuda, K., & Matsunaga, K. (1983). Changes in blink rate during signal discrimination tasks. *Japanese Psychological Research*, **25**, 140-146.
2. 田多英興・山田富美雄・福田恭介（編著）(1991) 「まばたきの心理学ー瞬目行動の研究を総括する」北大路書房
3. Fukuda, K. (2001) Eye blinks: New indices of detection of deception. *International Journal of Psychophysiology*, **40**, 239-245.
4. 福田恭介（編著）(2011) 「ペアレントトレーニング実践ガイドブックーきつとうまくいく。

子どもの発達支援」あいら出版

3. 外部研究資金

科学研究費助成事業 (基盤研究 (C)) 30年度～32年度 交付金額 4,420 千円
研究課題：発達障害児における瞬目抑制・発生のタイミング (研究代表者)

4. 受賞

九州心理学会第79回大会優秀発表賞 受賞 2018.12.2 (長崎大学)

5. 所属学会

日本生理心理学会 (理事), 九州心理学会 (理事), 日本心理学会, 日本行動療法学会, 日本心理臨床学会, 日本教育心理学会, International Organization of Psychophysiology (IOP)

6. 担当授業科目

<学部>

教養演習・1単位・1年・前期, 心理学実験演習Ⅰ・2単位・2年・前期, 心理学実験演習Ⅱ・2単位・2年・後期, 幼児教育心理学・2単位・2年・前期, 教育心理学概論・2単位・2年・後期, 心理学研究法・2単位・2年・後期, 知覚心理学・2単位・3年・前期, 認知心理学・2単位・3年・後期, 演習・2単位・3年後期・4年前期, 卒業論文・6単位・4年・後期

<大学院>

臨床心理基礎実習・2単位・修士1年・通年, 心理学研究法特論・2単位・修士1年・前期, 認知心理学特論・2単位・修士1年・後期, 臨床心理実習 (学内)・1単位・修士2年・通年, 臨床心理実習 (施設)・1単位・修士2年・前期, 特別研究・2単位・修士1・2年通年

7. 社会貢献活動

日本生理心理学会第 36 回大会会長, 九州心理学会理事, 日本生理心理学会理事, 認知心理学研究査読

8. 学外講義・講演

1. 久留米聴覚特別支援学校・教職員研修会講師
2. 福岡県立大学・教員免許更新講習・講師
3. 大分県立中津北高等学校・出前講義
4. 平成 30 年度発達障がい支援研修会 (事業所向け)・講師
5. 直方市ファミリー・サポート・センター会員登録講習会・講師
6. 田川市子ども支援連携推進室講演会・講師
7. 平成 30 年度児童虐待防止講演会・講師
8. 北九州養護教諭のための勉強会・講師

9. 附属研究所の活動等

1. 第 36 回・第 37 回お父さんとお母さんの学習室 (ペアレントトレーニング 10 回シリーズ) の企画と運営
2. 第 12 回特別支援教育スキルアッププログラム (ペアレントトレーニングに基づいた保育士・教師のためのスキルアッププログラム 5 回シリーズ) の企画と運営
3. 第 8 回直方市保育士・教師のための特別支援教育スキルアップセミナー 5 回シリーズの企画と運営